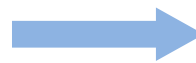


# ユリの香り抑制剤による抑制効果の季節間差異

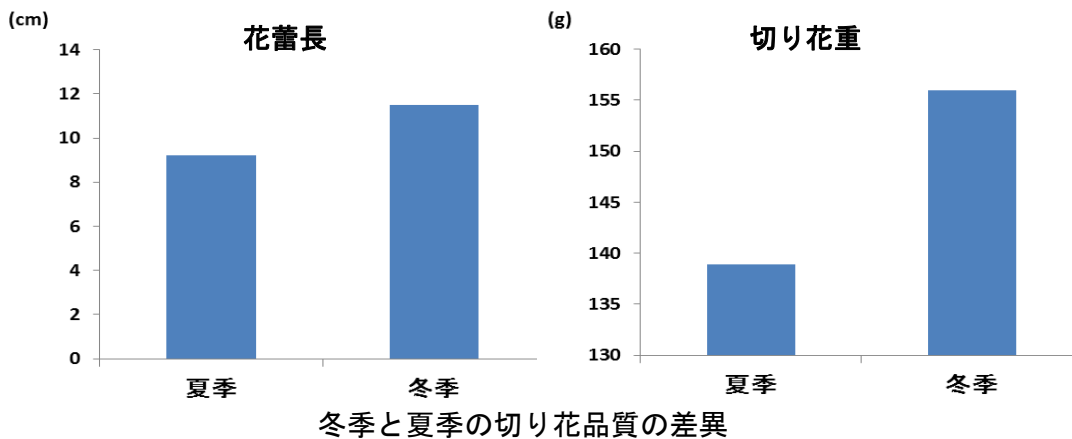
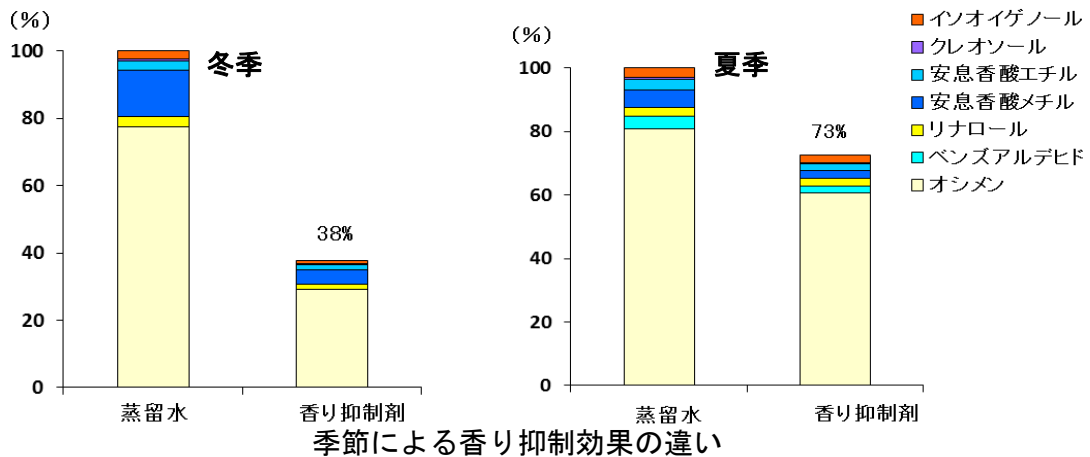
ユリが発する香りは、狭い空間では強すぎる場合があります。ユリ切り花に吸液させることで、香りを抑える香り抑制剤（アミノオキシ酢酸）が開発されたので、その抑制効果の季節間差異について、「ソルボンヌ」切り花を用いて調査しました。その結果、冬季は香気成分量を 38% に抑制したのに対し、夏季は 73% の抑制に留まり、抑制効果に季節間差異のあることがわかりました。

夏季の抑制効果が低い原因は、切り花の品質が高温環境で低下し、抑制剤の吸収が悪くなるためと考えられました。

蕾の時に、香り抑制剤を加えた水に活けます。



香気成分が抑制され、マイルドな香りになります。



(園芸研究所 野菜・花担当 TEL 0480-21-1115)